



主要な農作物の生育情報

令和8年度 第5号

(令和8年8月7日現在)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稻（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

農業総合センターの生育調査におけるひとめぼれの出穂期は、本部（郡山市）が7月31日で平年並、会津地域研究所（会津坂下町）が7月30日で平年より1日遅く、浜地域研究所（相馬市）が7月30日で平年より2日遅くなっています。

表1 農業総合センターにおける水稻の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月. 日)	幼穂形成始期 (月. 日)	出穂期 (月. 日)	成熟期 (月. 日)
本 部	ひとめぼれ	5. 15	7. 10 (－1)	7. 31 (±0)	[9. 9]
	天 の つ ぶ	5. 15	7. 10 (－1)	[8. 3]	[9. 12]
	コシヒカリ	5. 15	7. 17 (－1)	[8. 8]	[9. 17]
会津地域 研 究 所	ひとめぼれ	5. 20	7. 10 (+3)	7. 30 (+1)	[9. 11]
	天 の つ ぶ	5. 20	7. 12 (+3)	8. 3 (+1)	[9. 13]
	コシヒカリ	5. 20	7. 15 (+2)	[8. 4]	[9. 15]
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5. 11	7. 7 (+3)	7. 30 (+2)	[9. 9]
	天 の つ ぶ	5. 11	7. 7 (+2)	8. 1 (+2)	[9. 16]
	コシヒカリ	5. 11	7. 15 (+2)	[8. 5]	[9. 18]

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) ()内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前4年平均(2021, 2023～2025年)、それ以外では前5年平均(2021～2025年)との比較。[]内の数値は、平年値。

2 大豆（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

農業総合センターの生育調査における大豆（標播）の開花期は、本部（郡山市）のタチナガハが7月23日で平年より2日早く、会津地域研究所のあやこがねが7月24日で平年より2日遅く、浜地域研究所のタチナガハが7月31日で平年より3日遅くなっています。

表2 農業総合センターにおける大豆の生育状況

調査場所	播種 時期	品 種	播種期 (月. 日)	出芽期 (月. 日)	5葉期 (月. 日)	開花期 (月. 日)	成熟期 (月. 日)
本 部	標播	タチナガハ	6. 1 (－1)	6. 10 (－1)	7. 4 (±0)	7. 23 (－2)	[10. 25]
		里のほほえみ	6. 1 (－1)	6. 10 (－1)	7. 4 (±0)	7. 24 (±0)	[10. 24]
	晩播	タチナガハ	6. 19 (－1)	6. 26 (－2)	7. 18 (－1)	[8. 3]	[10. 29]
		里のほほえみ	6. 19 (－1)	6. 26 (－1)	7. 18 (±0)	[8. 3]	[10. 28]
会津地域 研 究 所	標播	あやこがね	6. 1 (±0)	6. 8 (－1)	7. 3 (－1)	7. 24 (+2)	[10. 22]
		里のほほえみ	6. 1 (±0)	6. 8 (－1)	7. 3 (－2)	7. 25 (+2)	[11. 2]
	晩播	あやこがね	6. 18 (－3)	6. 26 (－2)	7. 17 (－2)	8. 3 (+1)	[10. 24]
		里のほほえみ	6. 18 (－3)	6. 25 (－3)	7. 17 (－2)	8. 4 (+1)	[11. 4]
浜 地 域 研 究 所	標播	タチナガハ	6. 11 (+4)	6. 19 (+6)	7. 14 (+5)	7. 31 (+3)	[10. 30]
		里のほほえみ	6. 11 (+4)	6. 19 (+6)	7. 15 (+7)	8. 1 (+5)	[10. 25]
	晩播	タチナガハ	6. 25 (+2)	6. 30 (+1)	7. 22 (+2)	[8. 5]	[11. 2]
		里のほほえみ	6. 25 (+2)	6. 30 (+1)	7. 22 (+2)	[8. 5]	[10. 30]

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) ()内の数字は、前5年平均(2021～2025年)との比較。[]内の数値は、平年値。

【野 菜】

1 夏秋きゅうり

県北・県中地方の雨よけ栽培では、現在側枝上段及び孫枝以降の収穫中で、6月中旬に第1回目、7月中旬に第2回目の収穫盛期を迎えました。気温の上昇によって6月中旬以降停滞していた果実の肥大が進みましたが、なり疲れと日照不足の影響で曲がり果や短形果が多く発生しています。

県中地方の露地栽培は、7月以降、気温がここ数年に比べると低く経過し、また日照不足が6月以降続いたことで、出荷の大きなピークがなく2割程度出荷量が減少しています。

病害は、べと病やうどんこ病、つる枯れ病等の発生が見られ、特に露地栽培では炭そ病の発生が7月中旬から増加しています。害虫は、施設栽培を中心にアザミウマ類やコナジラミ類、ハダニ類、露地栽培でアブラムシ類が多く発生しています。

2 夏秋トマト

県南地方の4月上旬定植の作型は、現在5～6段目を収穫中で、4月下旬定植の作型は2～3段目の収穫中です。6月以降の気温が平年並～低く、果実の着色が緩慢なため、着果負担がかかり樹勢が低下しています。南会津地方の5月下旬定植の作型では、現在7～8段開花で、収穫は平年よりやや早い7月上旬から始まっています。

病害は、葉かび病やすすかび病、一部で青枯病が見られています。黄化葉巻病は、発生自体は例年より多いものの症状は軽度に抑えられています。害虫はコナジラミ類やオオタバコガが発生しており、トマトキバガが昨年より多く発生しています。

3 さやいんげん

県中地方の露地栽培は、前年に比べて花落ちが少なく生育は順調でしたが、7月中旬以降の高温時に花落ちや不良さやの発生が増加したほか、4月播種の作型では草勢低下による不良さやも増加しています。会津地方の露地防虫ネット栽培では、例年に比べて花落ちが少なく、順調に収穫が行われています。

病害虫は、角斑病や菌核病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、チョウ目害虫の発生が見られており、県中地方ではカメムシの発生が例年より多くなっています。

4 夏秋ピーマン

県中地方の施設栽培では12～13番花を収穫中で、露地栽培は6～8番花を収穫中です。県北・県中地方では、曇雨天や低温による生育の遅れや、果実肥大の遅れによる着果負担の影響で草勢が低下しており、収穫量も平年を下回っています。

病害虫は、斑点病やモザイク病、アザミウマ類、アブラムシ類、タバコガ類、カメムシ類の発生が見られています。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における8月3日現在の生育概況）

1 もも

「あかつき」の収穫開始は7月21日で平年より8日早く、昨年より4日早くなりました。

「ゆうぞら」の果実肥大は、暦日比較では縦径が68.0mm（平年比113%）、側径が70.3mm（平年比118%）と平年より大きい状況です。

満開後日数で比較すると、平年よりやや大きくなっています。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が62.5mm（平年比107%）、横径が78.7mm（平年比110%）、「豊水」は縦径が63.3mm（平年比108%）、横径が72.6mm（平年比110%）といずれの品種も平年より大きい状況です。

満開後日数で比較すると、「幸水」は平年よりやや小さく、「豊水」は平年並です。

気温等に基づくDVRモデルによる「幸水」の発育予測では、収穫盛期は8月21日ごろで平年より6日早い見込みです。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が75.9mm（平年比110%）、横径が82.5mm（平

年比 105%)と平年より大きく、「ふじ」は縦径が 66.6 mm (平年比 108%)、横径が 72.0 mm (平年比 106%)と平年よりやや大きい状況です。

満開後日数で比較すると、「つがる」は平年より大きく、「ふじ」は平年並です。

4 病害虫の発生

りんごの褐斑病など、病害の発生は概ね平年並となっています。果樹情報等を発行して注意を喚起し、現地における防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 コギク

8月咲きは、草丈が平年並からやや低く、開花時期が平年並からやや早まっており、7月下旬より出荷が始まり8月上旬に最盛期となっています。

9月咲きは、草丈が平年よりやや低く生育しており、早い地域では7月下旬より発蕾が始まっています。

病害虫は、アザミウマ類、アブラムシ類の小発生や、一部で白さび病の発生が散見されています。

2 リンドウ

8月盆向けの早生品種や、9月彼岸向けの中生品種では、草丈が平年からやや平年を上回る状態です。7月下旬頃から出荷が始まっており、8月上旬まで出荷が続く見込みです。

病害虫は、褐斑病が小～中発生となっており、一部でハダニ類、リンドウホソハマキ等の発生が見られます。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、平坦部、山間部共に2番草の生育が順調に進んでおり、雨不足や高温による夏枯れの被害も発生していません。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、順調に生育しており、収量は平年並～平年より多くなる見込みですが、一部の地域では雑草繁茂や害虫による食害被害が発生しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、体調管理に十分留意し熱中症対策をしっかり行い、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>